

Title	共立薬科大学研究年報規定
Sub Title	
Author	
Publisher	共立薬科大学
Publication year	2000
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.45 (2000.) ,p.79- 81
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000045-0079

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

共立薬科大学研究年報規定

1. 目的

共立薬科大学職員、大学院生、研究生、卒業生および本学関係者の教育・研究上の業績を発表する機会を提供し、またそれらを記録する。

2. 内容

- 1) 原報：未発表の研究論文あるいは総説等を掲載する。
- 2) 教育・研究活動の記録：すでに公表した研究業績を以下の形式に分けて記録する。
 - (1) 原著論文：学会誌などの学術雑誌に発表された原著論文の記録
 - (2) 学会発表：学術団体の主催する学会で発表された研究発表の記録
 - (3) その他：著書、訳書（共著、共訳を含む）、総説、一般商業誌への投稿論文の記録
 - (4) 学位記録：本学における学位修得の記録

A. 原報投稿規定

1. 投稿資格

本誌へ投稿できるものは、共立薬科大学教職員、大学院生、研究生、卒業生および本学関係者とする。共著の場合は投稿有資格者を第一著者とする。

2. 掲載順序、採否および発行時期

掲載の順序は受理順とし、原稿の採否は委員会で討議して決定する。発行は5月とする。

3. 原稿の種類

未発表の研究論文および総説等とする。

4. 原稿作製要領

1) 提出原稿の形式

- (1) A4版用紙（21×29.5cm）に横書きとする。
- (2) 市販の一般的なワープロソフトを用いてディスクに入力したものを提出する（使用可能なワープロソフトについては、年報担当者に問い合わせること）。
- (3) 図および表は、最終的に大きさを調節すれば使用可能な形式（すなわち、トレースなどを済ませたもの）で提出する。
- (4) A4用紙に図と表を所定の位置に挿入した完成論文を一部提出する。

2) タイトル

表紙に表題、著者名、所属の順に各々行を変えて書く。次に英語でそれぞれを記載する（下記の例を参照のこと）。

例：薬の政治に及ぼす影響について

共立花子、芝太郎*

共立薬科大学衛生化学教室、*東京タワー大学薬学部微生物学教室

Effect of Drugs on Politics

Hanako Kyoritsu, Taro Shiba*

Department of Hygienic Chemistry, Kyoritsu College of Pharmacy and* Department of Microbiology, School of Pharmacy, Tokyo Tower University

3) 欧文要旨

2枚目に250語以内の内容をよく表す欧文の要旨をつける。

4) 本文

(1) 項目

I, II……; A, B……; 1, 2……; 1), 2)……; (1), (2)……の順に大項目から小項目を分ける。

(2) 図表は本文中には含めない。

(3) 用語、記号、単位などの書き方は、できるだけ薬学雑誌、Biol Pharm Bull, Chem Pharm Bullの投稿規定に準ずる。

- (4) 略号を使用するときは、初出時に () に略語を示すこと。
 例, vitamin A (VA)
- (5) 表題、著者名、FigおよびTableの見出しの末尾にはピリオドをつけないこと。
- (6) 引用文献は番号をつけて一括し、末尾につける。
- (7) 脚注は末尾につける。
- 5) 図表
- (1) 必ず通し番号とタイトルを付け、A4版要旨に貼り本文とは別に番号順に一括する。
- (2) 図の説明 (Figure Legends) を別紙にまとめて提出する。
- 6) 引用文献
- できるだけ薬学雑誌、Biol Pharm Bull, Chem Pharm Bullの投稿規定に準ずる。あるいは統一のとれた慣れた形式でもよい。
- 7) 校正
- (1) 校正は3枚までとする。原則として、校正は著者の責任において行う。
- (2) この段階での原稿の変更は、入力ミス等の小規模なものに限る。原稿の大幅な変更を要する場合は、掲載を却下する。
- (3) 校正原稿を3日以内に返却する。違反した場合は掲載されないことがある。
5. 原稿締め切り
- 1月31日までに年報担当者へ提出する。
6. 別刷
- 50部を投稿者に無料で贈呈する。それ以上の部数を希望する場合は、投稿時に希望部数を書面にて提出し、50部を超える別刷の実費を投稿者が負担する。

B. 教育・研究活動の記録（業績記録）提出要領

- 各個人ごと、あるいは各研究室単位で前年度の業績記録をまとめる。
- 原稿は横書きとし、市販の一般的なワープロソフトを用いて入力したディスクおよびA4版用紙に印字したもの2部を提出する（使用可能なワープロソフトについては、年報担当者に問い合わせること）。
- 下記の例に倣って原著論文、学会発表、その他、および学位論文ごとに発表順にまとめる。
- 学位記録は、年報担当者が学務課の協力を得て原稿を作製する。
- 4月初旬までに年報担当者に提出する。（期限は年報担当者が指示する。）

業績の記載例

1) 原著論文

著者名（本学関係者はボールドにする）、タイトル、誌名、巻、ページ（始め-終り）、年とする。

英語例：

Kyoritsu H, Shiba T. Effect of drugs on politics. Biol Pharm Bull 18, 1-15, 1997.

日本語例：

共立花子、芝太郎. 薬が政治に及ぼす影響について、目薬誌 18, 1-15, 1997.

2) 学会発表

著者名（本学関係者はボールドにする）、タイトル、学会名、開催地、要旨集の掲載のページ、発表年月とする。

英語例：

Kyoritsu H, Shiba T. Effect of drugs on politics. 9th International Congress Politics, San Francisco, U.S.A., Abstract p123 1997. 7

日本語例：

共立花子、芝太郎. 薬が政治に及ぼす影響について、第9回国際政治学会、東京、（発表要旨集、p123）1997. 7

3) 著書、翻訳（共著、共訳を含む）、総説、一般商業誌への投稿論文

著者名（本学関係者はボールドにする）、書名（編集者名、版数）、出版社名、発行地、発行年、ページ

(始め—終り)、とする。

英語例：

Kyoritsu H, Shiba T. Effect of drugs on politics (R Hashimoto ed, 4th ed). Plenum, New York. 1997, pp1-123

日本語例：

共立花子、芝太郎. 薬が政治に及ぼす影響について、(橋本龍太郎編、第4版). 政治学書店、東京、1997年、pp1-123

共通細則

1. 年報の表紙、目次、奥付、背文字、および別刷りの表紙の原稿作製ならびにその校正は年報小委員会が行う。
2. 発行時期は毎年5月とする。
3. 本規定の更改は、必要に応じて図書委員会が行い、教授総会の承認を経るものとする。
4. 本規定は、平成9年度から実施する。